

松本製作所

適用範囲		型 式		SP3-15	SP3-20	SP3-30	SP3-40
		質 量 kg		50	85	125	155
		取付可能機体質量（単位 t）		0.7～1.3	2.0～2.5	2.5～3.5	3.5～5.5
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検 査 基 準 値			
旋回装置	旋回ベアリング	取付ボルトサイズ（外輪）	mm				
		締付トルク	N・m				
			kg・m				
		取付ボルトサイズ（内輪）	mm				
		締付トルク	N・m				
			kg・m				
油圧装置	シリンダー	開閉シリンダー					
		伸縮量（ ）	mm				
		測定時間	分				
つかみ部	つかみポイント（ソース）	つかみポイント（A）					
		基準値（新品時）	mm	100	113	135	157
		許容限度	mm	90	100	125	145
		つかみポイント（ ）					
		基準値	mm				
		許容限度	mm				
	つかみポイント（すべり止め部材）	つかみポイント（B）					
		基準値（新品時）	mm	7	7	8	9
		許容限度	mm	5	5	6	7

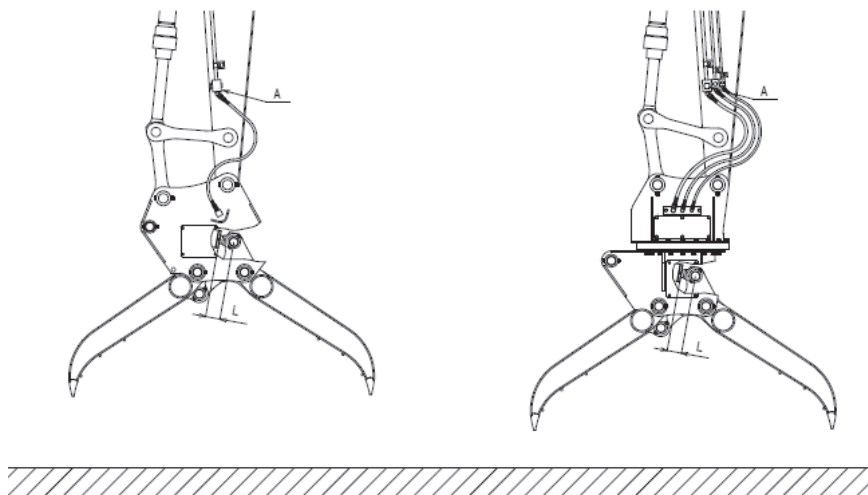
解体用つかみ具（外部シリンダー作動型）

SP3-60	SP3-120	SP3-200	SP3-220	SP3-300			
260	450	830	900	1,000			
5.5～9.0	9.0～16.0	17.0～20.0	21.0～23.0	23.0～30.0			
検 査 基 準 値							
93	117	114	122	161			
62	78	76	82	107			
13	16	19	25	25			
9	10	12	16	16			

松本製作所

1. 開閉シリンダー伸縮量の測定

- ①ショベル本体は堅固で平坦な場所に設置すること。
- ②つかみ具を地面から浮かせ且つ水平な状態で爪を最大開口まで開く（シリンダー最縮状態）
- ③ショベルのエンジンを停止してから油圧ホースの残圧を抜き、Aのストップバルブ（爪開閉ライン）を左右とも閉じる。
- ④L寸法を測定し、3分間経過後に再度L寸法を測定し、その差を伸縮量とする。

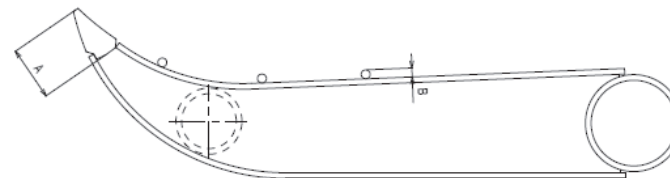


解体用つかみ具（外部シリンダー作動型）

HT・SP3-15
HT・SP3-20
HT・SP3-30
HT・SP3-40



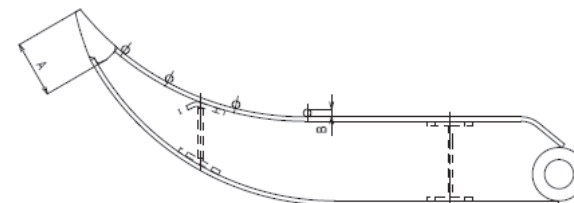
HT・SP3-60
HT・SP3-120
HT・SP3-200
HT・SP3-220
HT・SP3-300



MDP-30



MDP-40
MDP-60
MDP-120
MDP-200



CB-30
CB-40
CB-60
CB-120
CB-200

